

国際医療福祉大学成田病院

平成29年から遠山地区で工事が進められていた「国際医療福祉大学成田病院」が3月16日に開院しました。今号では同病院について紹介します。

地域医療の向上を目指して

市では、平成25年9月に国際医療福祉大学と共に大学の医学部新設を核とした「国際医療学園都市構想」を国に提案しました。

その後、国家戦略特区における規制緩和として本市での医学部の新設が認められ、平成29年4月に国際医療福祉大学の医学部が開学しました。

そして、3月16日に同大学の付属病院である「国際医療福祉大学成田病院」が畑ヶ田に開院しました。

成田病院が開院することで、皆さんが安心して先進的な医療を受けられるようになるほか、周産期医療や救急医療、災害医療などの充実により、地域の医療環境が大きく向上します。

また、医師・看護師をはじめと

する医療職や、運営を支える多くの方が成田病院に勤務するため、市内での雇用の機会が増えるほか市内業者との新たな取引が生まれるなど、地域の活性化に貢献することが期待されます。

国際水準の先進医療を提供

成田病院は東京ドーム3個分を上回る広さの敷地内に、地上8階建ての病院棟のほか、健診棟、教育研修センターがあります。

病院棟

一般病床600、精神病床40、感染症病床2の合計642の病床が設置され、内科や外科、救急診療科などの診療科で構成されています(9ページ)。

棟内には外国人患者を受け入れるための国際ラウンジがあり、英語・中国語・ベトナム語などに対応したスタッフが常駐しています。

また、宗教関連スペースも整備され、ハラル食に代表される食の多様性にも配慮するなど、国内外を問わないさまざまな医療ニーズに対応しています。

さらに、空港に近接する立地を生かして、病原体への水際対策を行う国際臨床感染症センターが配置されています。

国際臨床感染症センターでは、市内の医療機関などへ国内外の感染症に関する情報提供をしたり、対策方法の啓発活動をしたりすることで、本市の感染症対策に役立てられます。

健診棟

人間ドックセンターに、プール・ジム・サウナなどの施設を併設した予防医学センターが5月に開設される予定です。

予防医学センターは、一日に最大200人の人間ドックを受け入

国際医療福祉大学成田病院の外観



病院棟内の病室(個室)



予防医学センターにはプールも



開放感のあるエントランス

診療科の一覧

頭部・頸部・神経系

脳神経内科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、
歯科口腔外科

胸部・循環系・血管系

呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、心臓外科、血管外科

腹部・消化器系・泌尿器系

消化器内科、消化器外科、腎臓内科、腎泌尿器外科

女性・小児・新生児

産科・婦人科、乳腺外科、小児科、小児外科

全身

糖尿病・代謝・内分泌内科、アレルギー・膠原病内科、整形外科、形成外科、皮膚科、血液内科、心療内科、精神科、
麻酔科、リハビリテーション科

そのほか

感染症科、総合診療科、腫瘍内科、病理診断科、臨床検査科、
放射線科(診断・核医学・治療)、救急科



最新設備でさまざまな治療に対応
病院棟内には、心血管疾患・脳

国内外の関連病院などと情報共有を行う国際遠隔診断センターや図書館、研究室、シミュレーションセンターなどで構成されています。

※くわしくは国際医療福祉大学成田病院(☎35・5600)へ。

疾患治療を安心して受けることができるハイブリッド手術室を備え、より安全な治療を受けられるようになっています。

また、県内でも導入例が少ない放射線治療装置「トモセラピー」が設置され、精度の高いがん治療を受けられます。

市では今後も、国際医療福祉大学と連携・協力しながら、地域の医療環境の発展を目指していきます。



最新のハイブリッド手術室